

2020年度 北國新聞社杯 石川県実業団ボウリングリーグ 実施要項

主催 北國新聞社
石川県ボウリング連盟

公認 公益財団法人 全日本ボウリング協会

開催期間 2020年7月～2021年1月

大会会場 百万石リゾートレーン 御経塚グランドボウル レジャーランボウル藤江店

リーグ形式 3人チーム戦

競技方法 (1)1節は、3対戦 OR 4対戦とする。
(2)1対戦は、2G(3ポイント)マッチとする。
(3)参加チームを3組に分け組別総当たり対戦3回戦により順位を決定する。
(4)組別総当たり終了毎に、組分け抽選を行う。(第1節、第3節、第5節)
(5)同順位の裁定はトータルピンにより決定する。ただし、1Gでもブラインドのチームは同ポイントであってもトータルピンに関係なく下位とする。
(6)勝・1ポイント、負・0ポイント、引分け・0.5ポイント。
(7)ブラインドは一切認めない。従ってブラインド見込み点は0点とする。

ハンディキャップ 2020年4月1日現在の満年齢により1ゲームにつき下記とする。

	49歳以下	50～59歳	60歳～69歳	70歳以上
男子	0	5	10	15
女子	15	20	25	30

※70歳以上は、5歳ごとに5ピンを与える

遅刻 遅刻した場合は、次のゲームから参加できる。

競技時間 受付開始・午前9時15分 受付完了・9時45分 午前10時00分スタート

参加資格 2020年度県連登録のJBC法人会員であること。

施設利用料(1)チーム 4対戦 14,400円 (1名 4,800円)
3対戦 10,800円 (1名 3,600円)

(2)シリーズ単位で参加の場合 シリーズ 1名 1,300円

但し、シリーズ1ゲームでも投球した場合は清算しなし。

(3)ブラインドの場合は、1名500円を徴収する。(チーム全員は人数分)

褒章 チーム 優勝～6位、H/Gは記録のみ

競技規定 JBCボウリング競技規則を適用し、JBCリーグ規定により実施する。

ユニフォーム チーム毎に、県連指定の同一のユニフォームを着用のこと。

選手交替 (1)各リーグは、登録されている選手であれば1Gごとの交替を認める。

(2) 複数登録チームは、節毎のチーム編成を認める。

但し、同一節は当日最初に投球したチームに限る。

(3) 同一節で複数チームにわたり投球した場合は上記(2)以降、投球したゲームは失格とし、得点は0点とする。

但し、特別の事情がある場合は総会決議により決定する。

参加チーム

1	澁谷工業	1	2	北陸電力石川	2	3	金沢市役所	2
4	コマツ粟津	2	5	北國銀行	2	6	津田駒工業	2
7	トナミ運輸金沢	1	8	石川県教職員	2	9	小松ウォール工業	1
10	トランテックス	2	11	石川県庁	1	12	環境開発	1
13	久世パローズ工業所	1	14	OBクラブ	2			
							14社	22チーム

その他 (1) 「第53回全日本実業団選手権大会」及び「第46回全日本実業団産業別選手権大会」の派遣チーム選考は、募集次点での本リーグ成績を参考とする。

(2) 運営担当

リーグ運営は、前年度リーグの上位6社が運営委員となり行う。

運営委員は、毎節に担当法人を決め、受付、集金、対戦表配付、及び対戦成績表、順位表作成まで責任を持って行う。

(3) 対戦表提出

各シフトの対戦表は、競技終了後速やかに勝者が責任を持って受付に提出。

(4) 記録送付

新聞社への記録送付は、連盟理事が協力して担当する。

(5) 本リーグ個人記録は、実業団部年間表彰の対象とする。

年間表彰 アベレージ・1位～6位 H/G(ハンディ込み)

年間投球ゲーム40G以上を年間表彰対象とする(対象総ゲーム・60G)

H/Gは、全参加選手を対象とする。

その他の対象個人記録・全日本実業団都市対抗県予選、実業団選手権2人チーム戦。

(6) 一般競技褒賞に該当するスコアを記録した場合は、記録選手が運営担当者に自主申告すること。

新型コロナウイルス感染症予防策について

2020年6月17日更新 公益財団法人 全日本ボウリング協会 制定の「ガイドライン」に準じて以下の対策を行う。

(1) 基本姿勢

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事。
 - ① 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参し、着用する。（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
- こまめに手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 他の参加者等との距離を確保する。
- リーグ参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、実業団部に対して速やかに報告する。
- 競技の前後に関わらず、3つの密（密閉・密集・密接）を避けること。

(2) 競技中

- マスクを着用しての競技を認める。
- ハンドタッチは禁止とする。（チームメンバー同士でも禁止）
- ボールを拭くタオルは各自のものを使用する。（会場センターのものは用意しない）
- こまめな水分補給を行う。
- スコアカードを記入する鉛筆・ペンは各自で用意する。
- 競技中に叫んだり、大声を出すのは禁止。
- 他選手の競技用具には触れない。（スペアボールを渡すなど）
- 競技終了後は必ず手洗いをし、発生したごみは必ず各自で処分する。
- 競技終了後は速やかに退場する。

(3) その他

- 競技時間短縮
対戦間は移動のみを行い、インターバル（休憩等）は設けない。
- 移動エリア限定
会場をABCの3エリアに区分しますので、指定エリア以外への移動は行わないこと。
（指定した連続する4ボックスを7チームで使用する）
- 来場時検温を行う。検温結果はスコアカードに記入する。
- ボックス消毒
使用チームが行うこと。各ボックス備付の消毒液で実施する。